

広報



PUBLIC
RELATIONS

うんぜん



市長、市議会議員決まる (2~3)

【特集】

「ものがたり」が始まります (4~11)

12月号

No.2

平成17年12月1日発行

市立千々石幼稚園児のみなさん

決まる



11月22日、
おおぜいの職員に歓迎され、
初登庁した奥村市長

雲仙市長選挙

初代市長に

おく むら しん た ろう

奥村慎太郎氏

10月11日に誕生した雲仙市長選挙が11月20日に執行され、奥村慎太郎氏が雲仙市の市長に選ばれました。雲仙市長に立候補したのは、届け出順に奥村慎太郎氏と渡辺秀孝氏、松藤寿和氏の3氏。投票は午前7時から午後6時まで、市内41カ所の投票所で行われ、午後8時から吾妻体育館で開票作業が行われました。その結果、奥村氏が投票総数34,519票の約47.8%にあたる16,525票を獲得。他の候補者を押さえ、雲仙市初代市長の座に就きました。



雲仙市長選挙結果(敬称略)

当	16,525票	奥村慎太郎(51)
	12,240票	渡辺 秀孝(75)
	5,089票	松藤 寿和(69)

特集

「もものがたり」が 始まります

私たちの住むまち、雲仙市。

有明海と橘湾、二つの豊かな海を持ち、

市の中央に位置する雲仙岳は、揺るへくとなくそびえ立っています。

その雄大で優しい自然に抱かれながら、

人々は喜び悲しみを繰り返し、日々の営みを紡いでいきます。

人々が暮らしを営むとき、そこ「もものがたり」が生まれます。

このまちには、人々に語り継がれてきた「もものがたり」があります。

「もものがたり」たちの言葉に耳を傾けてみましょう。



参考文献 / 「鐘かけ松ときこりさん」(作：渡辺いち 絵：渡辺亀輔) 瑞穂町閉町記念誌「風の懐道」、吾妻町史、愛野町郷土史、おばまの民話、南串山町郷土史

第一話

瑞穂に伝わる「ものがたり」

「アボヨイ コボヨイ」

〜ナガサキ瀬のはなし〜

「ねえ、よつ聞いてよ。」
ばあちゃんは、しわくちやの顔をぐっと近づけて、
そして目を大きく開いて話し出した。

昔の話たい。あるところに与助という男がおったそ
うな。もう年の暮れで、餅つきも済み、正月の準備も
整いほつとしちよつた。与助は切れんバリカンにカタ
シの油ばさしさし、子ども正月頭は切りよつたげな
首に巻いたふるしきが咳をしたはずみに舞い上がり、
子どもが髪の毛を吸い込み、そして喉に引っかけてし
もつた。指を突っ込んでみても取れんし、水を飲んで
もだめじゃった。

人ん話では、アオミルという海草ばゆがいて食べば
髪の毛が取れ、楽になるといふことじゃった。
そこで与助は、船津の下のナガサキ瀬に行くことにな
った。歳の晩は浜がいつもより沖まで引いていて、
タコやセツカ、タイラギなどを捕りにきた人々のたい
まつ火が昼のように明るかつたそうなの。
与助は、目当てのアオミルのほか、タコなど夢中にな
って捕っていた。しかしふと気がつく周囲のたい
まつ火も消えて、与助一人になつた。
草鞋にも冷たい水がしみ、足下にもどんどん水がき
て、あつという間に足が浮き流されてしもつた。船津
の方角も分からず、もがくばかりじゃった。
真つ暗な海んなかで与助は、アボヨイ コボヨイ
イ……と叫んだ。力の限り叫んだ。
アボヨイ コボヨイ アボヨイ コボヨイ
イ……その声は潮騒や木枯らしに消され、誰ン耳にも
届くことはなかつたそうなの。

第二話

千々石に伝わる「ものがたり」

チヌ(黒鯛)釣り石

その昔、温泉神社一帯が海辺だった頃の話です。お
四面様(温泉神社)が千々石村に鎮座されることにな
りました。村人たちはそのことを大変喜んでお祝いを
することにしました。そしてその、お供えの魚をこの
辺りで釣ることにしました。しかし、どうしたわけか
この日は魚が一匹も釣れず、村人たちは困り果ててい
ました。

そこへ突然、年老いた一組の夫婦が現れました。年
老いた夫婦は、鯛は釣れたナーと村人に声をかけなが
ら、そこにあった大石に腰を据えて釣りを始めました。
ところがどうしたことでしょう、村人たちが見守る
なか、大きなチヌを次から次へと釣り上げるではあり

ませんか。年老いた夫
婦は村人たちに釣り上
げたチヌを手渡しなが
ら「このチヌはお四面
様のお供え物と、お祝
いの酒肴に使いなさい」と言いました。
その後、老夫婦は山
手(峰、中尾)の方へ
去つていったのですが
その後ろ姿は河童に似
ていたそうです。以来
老夫婦が釣りをした大
岩のことを「チヌ釣り
石」と呼ぶようになつ
たと言います。



チヌ釣り石の上に河童が!!よく見ると石像でした。民話を大切にしている地域の姿がうかがい知れます。

今も続く信仰のきずな 温泉神社秋季例大祭

チヌ釣り石のお話で紹介しまし
た「温泉神社」の秋季例大祭が、
10月19日から21日の3日間行われ
ました。

今年の当番地区は南船津でした。
初日のお下りでは、奉納の踊りや
くじら引きが行われ、お神輿が
千々石町内を威勢よく練り歩きま
した。

この大祭では、毎年、当番地区
を変えながら、それぞれの地区が
さまざまな奉納おどりや浮立を行
います。



有明海は干満の差が激しい。
船津のナガサキ瀬は大潮のとき姿を見せ、満ち潮になると
あつという間に瀬が隠れるところで、アサリやセツカなど
よく捕れる瀬であったそうです。大人は子どもたちに危ない
ところだという教えを物語にかえて聞かせていたのでは
しょう。

第三話

玄沢さんの袂袖

吾妻に伝わる「ものがたり」

昔じやつたげなもん、大島ぬけ、一羽の太とか鳶がおったげな。ある日、海に映った飛んでる自分の姿を見て、鳶は独り言を言った。「ホウ、太かもんね、こげんまで太かとは思わんじやつた。おいがこん海有明海）じゃ一番太かばい。太さ競べに出かけちみゆうかい……」。

一日中、広い海を飛び回ったが、鳶の相手はいなかった。飛び疲れて休憩しようと思ひ、海の中に立っている大きな柱に翼を休めた。そうして寝込んでいると夜中に柱がぐらぐら動き出した。「おかしなこともあるもん」と言いながら足場の位置を変えていると、「誰んな、ぶつぶつ言うちよるの」と、海の中から声がした。柱と思つてとまっていたのは、大きな蝦ガネの鬚であった。鳶は蝦ガネの大きさにびつくりし、これまでの事情を蝦ガネに話すと

「そんなら、俺がこん世の中じゃ、いつち太かばい」と言いながら歩き出したのであった。

蝦ガネは一日半歩き回ったが相手がおらず、歩き疲れて目の前にあった洞穴に泊まることとした。そして翌日も競争相手を探したが見つからず、前の日に泊まった洞穴と同じような洞穴に泊まることにした。

「おいが相手は見つからん。やっぱりこん世じやおいが一番太かごたる」と言っていると、「なんば言うちよつとな、昨日ん晩もおいが鼻ん中け黙って入ちよつて、今晚もまた黙って入ちよつて……」と言う声があった。泊まった穴はエイガンチョウという魚の鼻の穴であったのだ。

蝦ガネはがっかりして力が抜けてしまった。鳶より大きい蝦ガネ、蝦ガネよりも大きいエイガンチョウ。今までの話を聞いてエイガンチョウは、俺こそこの世で一番大きいと大いばりで湾の中を泳ぎ回った。やがて泳ぎ回って疲れたので海岸近くの洞くつのようなところで休んでいると、突然なんだか蓋のようなものがしまったような気がした。



鳶が止まれるほどの鬚を持つ蝦ガネ、その蝦ガネを鼻の穴に入れてしまうほど大きいエイガンチョウ（どんな魚!?）そしてとてつもなく大きい蛤。でもそれがすっぽり入る玄沢さんの袂袖。玄沢さんの袂袖に驚くとともに、この雄大な有明海を見ていると、大きさを競い合うむなしさも伝わってきます。

「こりや一体どげんしたことな、真つ暗になつてしまった」と、エイガンチョウはたばたしている、それは獲物欲しさに口を開いている蛤の貝の蓋であった。してみると、なんと言つても、この世で一番大きいものは、蛤ということになった。エイガンチョウを飲み込んでしまった蛤は俺より大きいものはこの世にはいないと大いばりであった。

ところが、その夜突然台風がやってきた。海はしけて、大荒れに荒れた。そして、その台風で海岸にはいるんなものが打ち上げられた。流木などに混じつて、この世で一番大きいといばつていた蛤も大波に打ち上げられ砂浜に転がっていた。

台風が過ぎ去つた翌朝のことであった。三室集落の医者どん、玄沢さんが田内川の海辺を歩いていて、「膏薬入れによか貝殻ん、よけいあえちよるかな」玄沢さんは、あちらこちらの波打ち際を歩いて貝殻を探つたやがて「おう、こりや見事なもんたい」と例の蛤を見つけた。ひよいと自分の袂袖にポンと投げ入れられた。あの大きな蛤は玄沢さんの袂袖のなかに納まったのである。

そいけん「三室の玄沢さんの袂袖」がこの世の中で鳶よりも蝦ガネよりもエイガンチョウよりも蛤よりも一番太かつたげなということになつたげな。

第五話

愛野に伝わる「ものがたり」

五代目、玉垣額之助

愛野に伝わる相撲力士「玉垣額之助」の話です。父は愛津中島の田中金左衛門、母は中島の田中家の出でした。玉垣の母は、ある夏の夕方、姑が庭で水浴をしていたところ、急に夕立がやってきたので、時間が無いと姑とタライを一緒に家の中に入れたり、ある時はコッテゴロウ（オス牛）が暴れるので、角を持つてねじ伏せたという力持ちの母でした。

玉垣の本名は「田中吉蔵」、明和六年（一七六九）生まれで、十八歳のとき大阪相撲の千田川吉兵衛に弟子入りをして、「雪嵐」の名をもらいました。その後もそこで修行をして、後には親方の四股名である「千田川吉五郎」を名乗っています。その次は、江戸相撲の八ヶ峰額衛門の門下に入り、幕下弟子となりました。雷電為右衛門と部屋であつて、一年後は幕内に入りました。それにより雲州松平公の召し抱えになり、五代目の「玉垣額之助」を襲名しました。十五年間、閑脇を務め、雷電の引退後は大関となりました。



玉垣額之助の記念碑

第四話

南串山に伝わる「ものがたり」

タヌキをだました太郎じやんどん

「こん昔じやつたげなだい。白頭の池下に太郎じやんどんという、とてもりこうな人がいたそうです。白頭の人はもめ事などが起こると太郎じやんどんに相談し解決してもらっていたので、とても頼りにしていたそうです。」

ちょうどそのころ、彦山様の峠の山にタヌキが出て人をだましたり、何かに化けておどしたりしていました。このため、人々は日暮れになると峠道を通れないでいました。

話を聞いた太郎じやんどんは「人ばだまくらかすなりや、俺が、そんなタヌキばだまして、白頭に連れち来て、こらしめてちやるだい」と家族に話したところ、そがん人はだますりこうなタヌキば、おまいの行つたて、だましゆるもんかない」と笑われましたので、太郎じやんどんは「俺とタヌキの知恵比べたい」と言いながら、馬小屋から馬を出して馬に鞍をつけ、日暮れごろ峠の山を目指したそうです。

太郎じやんどんは、馬のひずめの音を立てて、峠の下の方から大きな声で「おるげんばあさんな、加津佐まで買もんに行つたばつてん、帰つてこんとん」と言つて「ばあやーん、ばあやーん」と呼びながら峠を登りました。

すると上の方から杖をついてばあさんが下つてきたそうです。「どーいまた日暮らしじやつたるかい。下り坂は年寄りには危なかけんと思つて、馬ば引いてきたけん乗れ」と言つて、ばあさんをつかまえ鞍に乗せて縄でぐるぐる巻きに縛りつけました。縄が痛いというばあさんの言つことも聞かず、太郎じやんどんはどんどんと峠を下つて行きました。

しかし、家に帰つて鞍の上を見たらばあさんは木の株になつていて、それを見て家族は「そつりや見なせ、タヌキじやのうして木の株どん連れち来て」とたいへん笑つたそうです。

でも、太郎じやんどんは「こるがくせ者たい」と言つ



うっそうと木々が繁る森の中。今にもタヌキが飛び出して来そうです。昔話でタヌキやキツネが人を化かしたりする話がありますが、どうしてなのでしょうかね。たぶんそれは、自然に対しての畏怖の表れではなかったのでしょうか。

て、平釜に水を入れてどんどん火を燃やし始めました。お湯が沸騰するのを待つて、木の株を釜の中に入れたところ「ギャー」と叫んで逃げてしまいました。どこに逃げたのかと太郎じやんどんが探していると、仏壇に同じような仏様が二人いることに気づきました。太郎じやんどんは気づかないふりをして、家族にお茶を入れるように言いました。そして「おるげん仏様は、お茶ばあげれば、うなずかすもん。そるがうれしか」と言つてお茶をあげたところ、一人の仏様がうなずきました。それを見た太郎じやんどんは仏様を捕まえようとしましたが、すんでのところ逃げられてしまいました。

それから四、五日して太郎じやんどんが峠の山を登つていたところ、太郎じやんどん、太郎じやんどん」と山の中から聞き慣れない声がしてきました。「この間のような、むごかことは、せんでください。おるも、こるから人ばおどしたり、だましたりせんけんの」タヌキが山の中から言いました。それ以来、タヌキが人をおどしたり化かしたりすることはなかったそうです。



玉垣額之助は、身長182cm、体重が130kgありました。当時の平均的な大きさからすれば、かなりの巨漢だったことでしょう。

その後親方となり、仙台の興業に行く途中、四十七歳で死亡したので、その墓は仙台の成覚寺にあります。愛津の共同墓地にも玉垣の墓があり、国道五十七号線沿いには玉垣の記念碑が建立されています。

玉垣には二人の弟があり、その弟も相撲取りとなりました。二男の松浦鴻は平戸公の召し抱えとなり、三男の満潮峰蔵は、草相撲取りでした。

玉垣には子どもがなかったので、養子を迎えています。六代目玉垣額之助は小浜出身の細波大五郎といい、島原の松平公の召し抱えとなりました。

雷電為右衛門の日記によると、長崎巡行の際は、守山の庄屋に泊まつたと記載されています。また、長崎の中島川の眼鏡橋の下に戸板を持ち出し、大水の中で雷電は三步だけさかのぼつたが、玉垣はただ踏みとどまつただけであつたといひます。

第六話

国見に伝わる「ものがたり」

鐘かけ松ときこりさん

島原半島^{（うしろ）}神代鶴亀城の跡に、一本の松が生えていました。

何百年も前からその場所に立っていた大木で、枝ぶりもよく、遠くからもよく見えていました。地先を通る船の船頭さんは、松の木を目じるしにしていた。村の人たちは、いつのころからともなく「鐘かけ松」と名前をつけていました。

それは、松の木の枝に鐘をかけておいて、お侍たちの登城の時刻を知らせたり、何が変わったことがあると、鐘をたいて人たちに知らせたりしていたのです。松の木は、村のシンボルでした。

今から六十年ほど前、私たちの国は外国と戦争をしていました。戦争に行く兵隊さんを松の木は黙って見送りました。そしてまた、白木の箱に入って帰ってくる人たちを松の木は黙って出迎えていたのです。

長かった戦争も終わるころ、土地は荒れ人々は暮らしに追われ、生きていくのに精一杯でした。そのころから「鐘かけ松」も弱ってきました。そうして松食い虫にやられ、枯れかかっています。

もう手遅れです。切り倒さねばなりません。村の人たちは「きこりさん」を連れてきました。きこりさんは「鐘かけ松」に清めの塩とお神酒を供えました。「枯らしてしまつてごめんね。明日は切るからごめんね」と言つて帰りました。きこりさんは、明日は朝が早いからと早めに床につきました。

ところが、なかなか寝られませぬ。「どこから切つていこうかな」。どの方向にたおそうかな」と考えていました。しばらくすると誰かが「これこれ」と肩をたたくので起き上がつて、見てみると白いひげの上品なおじいさんが立っていました。

おじいさんは「長い間、この人たちと暮らしてきたが、とうとうお別れの時が来たようだ。私は松の精だよ。お前たちがけがをしないように切つておくれ」と言いました。きこりさんはびっくりにして「ハハア」と頭を下げました。

おじいさんは「ナンノ、ナンノ、そんなにかしこまらなくてもいいよ。私も楽しい思い出がたくさんある

のでね。村祭りの時は、太鼓の音が聞こえるし、ときには、鶴が羽を休めてくれるしね。松葉の落ちるころには、近くのおばあさんが松葉かきに喜んで来ていたがね……」

「その中で一番楽しかったのは、子どもたちが五人ガヤガヤとやって来て、私を取り巻いてくれて。五人六人じゃあ囲みきれんぞつ。まつと、ほうびやあ連れてこい。十人なつとんで、といまかんば、といまきされるもんかあ」と大騒ぎしながら走り回つて。根の上をピョンピョン跳び回るので私はくすぐつたいのを一生懸命我慢しておつたんじや。子どもたちがケガをしないようにね」と楽しそうに笑いました。そのとたん

おじいさんはいなくなりました。それは夢でした。翌朝、きこりさんは朝早くからお弁当を持って「鐘かけ松」に出かけて行きました。おじいさんが言ったようにケガをしないよう注意して、高いところから次々と枝を下ろしていききました。

最後は「ドドド」と大きな音を立てて東の方に向けて倒れました。きこりさんには「サヨウナラ」という声が聞こえました。急に淋しくなつたきこりさんは空に向かつて「オーイ」と叫びました。

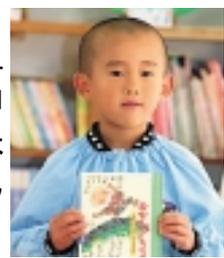
切り倒された「鐘かけ松」は、今、飾り物として、お城跡のお屋敷の玄関にわずかにその面影をしのばせています。



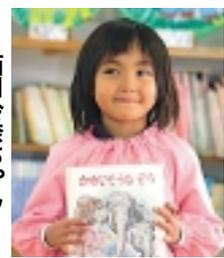
このものがたりは、国見町の渡辺いちさんが地域の民話を編集し、紙芝居にしたものから紹介しました。このお話のほかにも地域に伝わる民話などを紙芝居にされています。読んでみたい人は、雲仙市図書館（国見町文化館内）にありますので、ご利用ください。

ぼくらも大好き「ものがたり」

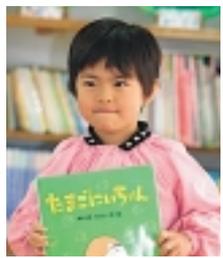
今月号の表紙を飾ってくれたのは「市立千々石幼稚園」のよい子のみなさんです。「みなさん、お話は好きですか」と聞いたところ、自分の好きな本を持ってきてくれました。みんなのすてきな笑顔と大好きな物語の本を紹介しますね。



町田 大くん
「おむすびころりん」



西川 玲奈ちゃん
「かわいいそうなぞう」



吉田 朱音ちゃん
「たまごにいちゃん」



吉井 愛梨ちゃん
「いたずらこね」



町田 和仁くん
「おちやのじかにきたとら」

第七話

小浜に伝わる「ものがたり」

お諏訪の白玉

島原城下の片町に、杏庵りゅうあんという若いお医者さんがお母さんと二人で住んでいました。ある日、杏庵が諏訪の池に薬草を採りに行ったとき、池のほとりで子どもたちが白いへびをいじめていたので、小銭を子どもたちに渡し、その白いへびを助けてやりました。

翌年の夏の夜更けのことでした。家の表戸をたたく音がしたので、開けてみると若くて美しい娘が立っていて、長旅で疲れており、ケガもして困っているのので、傷の手当てと一夜の宿をお願いしたいと頼むのです。ケガをしたと聞いてびっくりしましたが、杏庵もお母さんも、娘のそぶりを見て安心して泊めてやることにしました。

何日かたつと娘のケガはすっかり治りました。娘は「今は訳があつてお礼もできませんが、このご恩はきつとお返しいたします」と言つて、どこかへ行つてしまいました。

半年後のある日、杏庵は風邪をこじらせて寝込んでしまいました。そこへその娘がひょっこり現れ、看病をはじめ、洗濯や炊事までしてよく働いてくれるのです。お母さんは感心して「お名前は？お住まいは？」と尋ねました。娘はためらいながら「おすわ」と名だけ告げて、他のことは話そうとせませんでした。お母さんはそれ以上尋ねませんでした。上品で気だてもいいので「おすわ、おすわ」とかわいがりました。

杏庵もとても気に入つたのでお嫁さんに迎え、やがて、赤ちゃんが生まれることになりました。

お産の日になると、おすわは「赤ちゃんは、一人で産みますので心配しないでください。大丈夫ですから絶対部屋をのぞかないでください」と言つて自分の部屋に入りました。

見るなど言われると見たくなるものです。赤ちゃんが生まれたような気配がしたので、そつとのぞいた杏

庵は、アツと驚きました。なんと大蛇がとぐるをまいており、その中に赤ちゃんがいたのです。

夢中で杏庵はこのことをお母さんに話しました。お母さんもびっくりして、おすわの部屋をのぞきました。大蛇は見えません。まるまると太つた赤ちゃんに乳を飲ませているおすわの姿があるだけでした。

それから何日か過ぎました。昼寝をしていたおすわは、うっかりして正体を、二人に見られてしまいました。おすわは「私は諏訪の池に住む白蛇です。この前命を助けていただいたお礼にと思つてしたことが、こんなことになつて……。もうこの家にいることは出来ません」。泣く泣く別れを告げました。そして、白い玉を一つ杏庵に渡し「この子は、ひもじくなつたら泣き出します。その時は、この玉をしゃぶらせてください」

そう言い残すと、どこへともなく消え去りました。それからというもの、赤ちゃんはお腹が空くたびに、お母さんのお乳の代わりに白玉をしゃぶつて泣くこともなく元気に育ちました。

これが町の評判となり、うわさは次々に広がつて殿様の耳にも入つたらしく、お乳が足りなかつた若様の

ために、家来がその玉を無理矢理持つていつてしまいました。

白玉をとられた赤ちゃんは、ひもじくてヒイヒイと泣き続け、他のものは食べようともしません。

たまたまなくなつた杏庵は、おすわに助けてもらいたい一心で、野山をかけ続け諏訪の池のほとりにたどりつきました。

「玉を取られたあ、玉を取られたあ」と叫ぶと、水煙の中から、おすわが現れまた一つ白玉を渡してくれました。

喜んだ杏庵は急いで帰り、赤ちゃんに白玉を握らせました。すると赤ちゃんは今までのことがうそのように泣きやみ、玉にむしゃぶりつきました。その後はすくすく育つて、元氣にはい回るようになりました。しかし、同じようにうわさが広まり、また殿様の家来がやつて来て玉をお城に持つて行つてしまいました。赤ちゃんは諏訪の池の方を見て悲しそうに泣き続けました。

杏庵は仕方なく、とぼとぼと諏訪の池までやつて来て「おすわ、おすわ。また殿様から白玉をとられてしまった。おすわ、すまないけど私の力じゃどうにもならない。おすわもう一度助けてくれないか」と、力なく訴えました。

水煙の中から、しょんぼり出てきたおすわは、もう目が見えなくなつていました。

「二つしかない玉でした。子どもが大きくなつたら返してもらうつもりでしたのに、二つともなくなれば私の命も子どもも命も終わりです」と言つて泣き出しました。

その日の夕方、島原半島に大きな地震が起こり、諏訪の池の上池、中池、新池の水面は大きく波立ちました。おすわが住んでいた上池が震源地だといわれる大地震は、雲仙岳を揺さぶつたあと、島原の眉山の半分を有明海に吹き飛ばしてしまつたのです。

地震が収まつたあと、両目のない白い大蛇の死体が濁つた上池に浮かんでいたそうです。



おすわが住んでいたといわれる諏訪の池。のどかな風景の中に、このような悲しい物語があつたとは思ひもおよびません。おすわの子を思う心と両眼をなくした無念さが、大地をも揺り動かしたのかもしれない。

さあ、

新しい

「ものがたり」を 始めましょう

7つの町に伝わる「ものがたり」を紹介しました。それぞれの地域に、それぞれのお話がありました。楽しい話もあれば、切ない話もありました。「ものがたり」たちは、そこに、その時代に住んでいる人々の息吹を私たちに伝えてくれています。

今、7つの町が一つとなり雲仙市が生まれました。新しい「まち」が誕生した「ご」自体、一つの「ものがたり」なのかもしれません。これから私たちは、喜びの縦系と悲しみの横系を織り交ぜながら「の新しく生まれた雲仙市の「ものがたり」を紡いでいくのでしよう。ともに手を取り合って……。

さあ、「ものがたり」を始めましょう。

私たちのまち

雲仙市



雲仙市は、島原半島の北西部に雲仙普賢岳を取り巻くように位置しており、北岸は有明海に、西岸は橘湾に面しています。地勢は、雲仙山系の険しい山地と、それに連なる丘陵地、および海岸沿いに広がる平野部からなり、東西17km、南北24kmとなっています。総面積（16年10月1日現在）は206.85km²で、県全体（4094.64km²）の5.1%を占めています。また、気候については、温暖多雨の恵まれた条件にあります。

本市の位置する地域は、橘湾や有明海を望む美しい海岸線や、普賢岳、雲仙地獄といった雄大な自然環境を有しており、日本最初の国立公園である雲仙天草国立公園、および島原半島県立公園に指定されています。

雲仙市物語

誕生の

江戸時代の記録によると、島原半島には30を超える村があったと記されています。そのうち、今の雲仙市管内には、島原藩、鍋島藩に属する16の村々がありました。

明治になって、大小区の設定、郡区町村編成法の公布を経て、明治22年には市町村制が施行されます。このとき、今の雲仙市管内には多比良村、土黒村、神代村、西郷村、伊福村、古部村、守山村、

「ものがたり」の 主役は このまちに住む あなたです

ここに紹介した物語の他にも、たくさんの伝説や民話が雲仙市には語り伝えられています。

それは、親から子へ送る教訓であったり、信仰に関する戒めであったり……。そして、それらを読みすすめていくごとに、それぞれの時代に、様々な思いをもってまちづくりに尽くした名もなき人々に出会うことができます。

彼らは、特別なことをしたわけではなく、自分のため、家族のために、仲間のため、そして郷土のため懸命に生き抜いています。それらが礎となって現在の私たちの暮らしがあるのです。

新しいまち「雲仙市」がスタートしました。新しいまちづくりの始まりです。

特別なことをする必要はありませんが、新しいこのまちを私たちの手で育てていきましょう。

やがてはそれが「ものがたり」と呼ばれるはずです。そして、その主役はあなたです。



そして平成17年10月11日、国見町、瑞穂町、吾妻町、愛野町、千々石町、小浜町、南串山町は合併特例法にのっとり雲仙市となったのです。

昭和44年4月に瑞穂村と南串山村が町制を施行し村から町となりました。
その後、昭和38年の4月に吾妻村が、
昭和44年4月に瑞穂村と南串山村が町制を施行し村から町となりました。

さらには、昭和32年3月に神代村が国見町に編入され、合併前までの7つの行政区域が確立されました。
その後、昭和32年3月に神代村が国見町に編入され、合併前までの7つの行政区域が確立されました。

市内の各地域の沿革を時代に沿って追っていくと、大正13年4月には小浜村が町制を施行し小浜町となりました。大正15年7月には古部村と伊福村が合併し大正村となりました。昭和3年11月に千々石村が千々石町に、昭和12年2月に多比良村が多比良町に、昭和24年8月には愛野村が愛野町へと、それぞれ町制を施行しました。

税



平成17・18年に課税事業者となる個人事業者の方へ

消費税の簡易課税制度を選択するには

「簡易課税制度届出書」の

提出が必要です



簡易課税制度

前々年の課税売上高が5000万円以下の人は選択できます

簡易課税制度とは、課税売上げに係る消費税額に、業種に応じたみなし仕入れ率を乗じて、消費税額を簡易に算出する制度です。課税売上高が5000万円以下の人は選択できます。

簡易課税制度を

選択する

「簡易課税制度届出書」を提出
12月31日までに「簡易課税制度届出書」を税務署に提出してください。
納付税額は、みなし仕入れ率で計算
「みなし仕入れ率」で納付税額を計算するので、一般課税で計算すれば還付となる場合でも、還付を受けるこ

とはできません。
選択は2年間以上継続
簡易課税制度を選択した人は、2年間以上継続した後でなければ、選択をやめることはできません。選択をとりやめるには、「簡易課税制度選択不適用届出書」を提出してください。
納税資金の積み立てが必要
期限内納付のため、納税資金の積み立てをお願いします。(目安月額は表Aのとおり)

簡易課税制度を

選択しない

「一般課税」となります
課税売上高が5000万円を超える人、5000万円以下で簡易課税制度を選択しない人は、「一般課税」となります。
帳簿・請求書などの保存が必要
課税仕入れなどの事実を記

載した帳簿・請求書などの両方を保存する必要があります。保存していないと、仕入れや経費の支払いの際の消費税分を控除することができません。

振替納税を

ご利用ください

申告所得税や個人事業者の消費税は、窓口での納付以外に、金融機関の預貯金口座から引き落としで納付ができる振替納税がご利用できます。安全で便利な振替納税をぜひ、ご利用ください。

区分	卸売業 (第1種事業)		小売業 (第2種事業)		農業、林業、漁業、 建設業、製造業など (第3種事業)		飲食店業、金融・ 保険業など (第4種事業)		不動産業、運輸通信 業、サービス業など (第5種事業)		
	年間課税 売上高	積立目 安月額	年間 税額	積立目 安月額	年間 税額	積立目 安月額	年間 税額	積立目 安月額	年間 税額	積立目 安月額	
みなし仕入れ率	90%		80%		70%		60%		50%		
売上に対する 納税額の目安率	0.5%		1%		1.5%		2%		2.5%		
万円	千円	万円	千円	万円	千円	万円	千円	万円	千円		
1,000	84	5	5	10	9	15	13	20	17	25	21
1,500	125	8	7	15	13	23	20	30	25	38	32
2,000	167	10	9	20	17	30	25	40	34	50	42
2,500	209	13	11	25	21	38	32	50	42	63	53
3,000	250	15	13	30	25	45	38	60	50	75	63

(表A) 業種別積立目安月額

問い合わせ

島原税務署個人課税第一部門
0957(62)3282
市役所 税務課市民国保税班
0957(38)3111
(内線 2418)

平成17・18年に課税事業者となる個人事業者とは?

- 前々年の売上げが1,000万円を超えた個人事業者
- 平成17年課税事業者 平成15年分の課税売上高が1,000万円超
- 平成18年課税事業者 平成16年分の課税売上高が1,000万円超

新たに課税事業者となる人は、「課税事業者届出書」の提出が必要です。

平成17年分の消費税および地方消費税の申告・納付は、
平成18年3月31日 までです

期限内の納付をお願いします

雲仙市立千々石幼稚園 

平成18年度
園児募集

雲仙市立千々石幼稚園では、
18年度の園児を募集します。
みなさまのご応募をお待ちしています。

♪ 入園資格 ♪

平成12年4月2日～16年4月1日までに出生した幼児

♪ 募集人員 ♪

満2歳児・3歳児・4歳児・5歳児 合計40人

♪ 教育時間 ♪

通常：午前8時～午後2時
預かり保育（午後5時まで）も行っています。

♪ 保育料など ♪

- ・保育料 月額5,000円
- ・入園許可手数料 1,500円（新入園時のみ）

♪ 通園バス運行 ♪

千々石地区内は、社会福祉センターのデイサービス号で帰りの便のみ運行しています。（経費の半額は保護者負担）

♪ 入園願書受付 ♪

12月1日～平成18年1月20日
「入園願書」を雲仙市教育委員会（千々石総合支所）学校教育課 または、千々石幼稚園に提出してください。

♪ 問い合わせ ♪

- ・雲仙市教育委員会 学校教育課 ☎0957(37)3113
- ・雲仙市立千々石幼稚園 ☎0957(37)2140



年 金

問い合わせ

諫早社会保険事務所 ☎0957(25)1666
市役所 保険年金課国保年金班（内線 2223）

免除制度をご利用ください

国民年金保険料を長期間未納のままにしておくと、将来受給する年金額が減額されてしまいます。また、受給資格を満たすことができず、老後に年金を受給できなくなる可能性があります。保険料を納めるのが困難なときは、免除制度・納付猶予制度をご利用ください。

免除制度
全額免除制度と半額免除制度があります。所得基準を満たしていれば申請できます。

若年者納付猶予制度
今年から新設された制度。若年者が、同居する世帯主の所得にかかわらず、本人および配偶者の所得要件により、保険料の納付を猶予する制度です。20歳代で所得基準を満たしていれば申請できます。承認期間は、老齢基礎年金の受給資格要件には算入されませんが、年金額には反映されません。満額の年金を受けるためには後日保険料をさかのぼって納めること（追納）が必ず要です。

学生納付特例制度
大学（大学院）や短大、高等専門学校などの特例対象学校に在学する学生で、所得基準を満たしていれば、申請できます。この制度に該当する学生は、免除制度・若年者納付猶予制度ともに申請できません。

申請手続きは毎年必要です
それぞれの制度とも、今申請すると、平成17年4月までさかのぼって承認となります。ただし、承認基準を満たすことが条件です。また、申請手続きは毎年必要です。市の年

社会保険料
控除証明書は
保管していますか？

金窓口忘れずに申請してください。

11月に送付された社会保険料（国民年金保険料）控除証明書は、大切に保管していますか。年末調整や確定申告の手続きには、必ず必要になります。万が一、紛失した場合は、社会保険事務所または専用ダイヤル（0570 00911）へご連絡ください。

平成18年度 保育所(園)入所募集

新たに4月から保育所の入所を希望する児童の申し込みを受け付けます

対象児童

- ・0～5歳児(平成18年4月1日現在)
- ・保護者が仕事または病気などの理由で保育できず、ほかに保育する人がいないと認められ、入所基準に適合する児童

申込期間

平成18年1月10日～27日

申込場所

- ・雲仙市福祉事務所(愛野総合支所)
- ・各総合支所 市民生活課
- ・各保育所(左表)
- ・雲仙市役所 福祉課窓口

所在地	保育所(園)名	電話番号
国見町	土黒保育所	0957-78-2274
	たいら保育園	0957-78-2263
	あさひ保育園	0957-78-2816
	八斗木保育園	0957-78-3419
	神代保育所	0957-78-2813
	中央保育園	0957-78-3125
瑞穂町	円福寺保育園	0957-77-3000
	岩戸保育園	0957-77-3001
	宝池寺保育園	0957-77-3126
	洗心保育園	0957-77-2727
	正覚寺保育園	0957-77-4190
吾妻町	大福寺保育園	0957-20-0383
	あそか保育園	0957-38-2151
	和光幼児園	0957-38-2148
愛野町	愛野保育園	0957-36-0131
	すぎのこ保育園	0957-36-1772
千々石町	どんぐり保育園	0957-37-2141
	なかよし保育園	0957-37-3017
小浜町	あすなる保育園	0957-74-3088
	雲仙保育園	0957-73-3529
	恵燈保育園	0957-74-5260
	小浜保育園	0957-75-0132
	北串保育園	0957-74-9014
	北野保育園	0957-74-2331
	飛子保育園	0957-74-9056
	富津保育園	0957-74-2514
南串山町	八幡保育園	0957-88-2177
	串山保育園	0957-88-2068
	南串保育園	0957-88-3317

問い合わせ

雲仙市福祉事務所 児童家庭班
☎0957(36)2500



福祉医療の 支給が変わります

平成17年10月分から月末までに受け付けた福祉医療費について、翌月末に支給することになりました。

ただし、高額医療費該当および老人医療費適用分については、診療月から3ヵ月程度遅れます。

問い合わせ

雲仙市福祉事務所 福祉課市民福祉班



真剣勝負

第15回「県央カップ」争奪小学生スポーツ交流大会



第15回「県央カップ」争奪小学生スポーツ大会が、10月23日に雲仙市を主会場に開かれました。この大会は、県央地域の小学生が、スポーツを通して交流し、競技力を向上することを目的に毎年開催されています。7種目、9競技に参加した本市小学生チームは、優勝を目指し日ごろの練習の成果を発揮しました。なお、主な成績は次の通りです。

- バレーボール男子
第3位 小浜諏訪クラブ
- バレーボール女子
優勝 大塚バレーボールクラブ
第3位 小浜ソフトボール
- 優勝 オール小浜
第3位 愛野暁サッカー
- 優勝 小浜ジュニアフットボールクラブ
- 柔道
(団体) 第3位 橋柔友会
(個人) 4年生重量級
第3位 藤島拓也
5年生軽量級
優勝 吉田光輝
準優勝 永田 央
5年生重量級
準優勝 藤田道大
第3位 里見大吾
- 剣道
(団体) 準優勝 小浜少年剣道部
(個人) 男子優勝 藤本一騎
女子優勝 井上祐子



大塚バレーボールクラブ



オール小浜



小浜ジュニアフットボールクラブ

左から
井上さん、室田さん、馬渡さん
右から2番目が松山さん



島原半島地区
青年農業者意見発表大会

●
青年農業者
4人が優秀賞

10月18日に有家町で開かれた青年農業者意見発表大会で、市内の青年農業者4人が優秀賞を受賞しました。受賞したのは、馬渡孝浩さん（吾妻町青年農業者連絡協議会）、室田政宏さん（瑞穂町青年農業者連絡協議会）、井上和彦さん（南串山町4Hクラブ）、松山恵久さん（南串山町4Hクラブ）。この大会には、島原農業改良普及センター管内から20人が参加し、その内最優秀賞1人、優秀賞5人が選ばれました。今回受賞した4人は、来年2月に佐世保市で開かれる「45th アグリネットフォーラム」に出場します。

部を代表して加藤賢悟さんが受賞しました



長崎県社会体育優良団体

●
吾妻町体育協会
男子バスケット
ボール部が受賞

南高来郡民体育大会を16年間連覇した吾妻町体育協会男子バスケットボール部が、長崎県社会体育優良団体に選ばれました。同部は、この連覇の間、全国大会出場4回・九州大会出場4回・長崎県大会優勝6回と素晴らしい成績を収めるとともに、ミニバスケットボール教室の開催など競技の普及活動にも努め、今回の受賞となりました。11月12日に佐世保市で行われた第57回県民体育大会総合開会式会場で表彰されました。



表彰ラッシュの雲仙市
おめでとう



農林水産統計調査
永年協力者

●
永年協力者3人
農林水産大臣から
感謝状

農林水産省が実施する統計調査に永年協力した中尾實光さん（国見町）、吉本充秀さん（吾妻町）、野口和昭さん（千々石町）に、農林水産大臣から感謝状が贈られました。3人が協力した統計の調査結果は、農業や林業の経営安定・改善を図るための基礎資料として広く活用されています。10月18日に長崎市で開催された「統計の日」の記念行事で表彰されました。



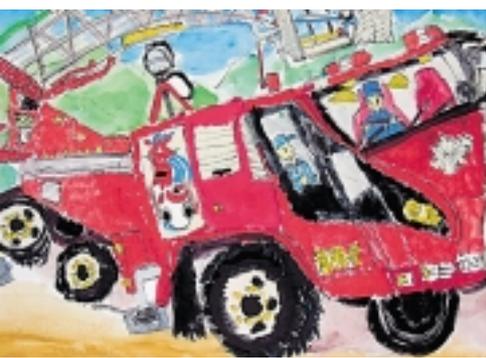


島原地域広域市町村圏組合
消防スケッチ大会
●
管理者賞に
松永 海里さん

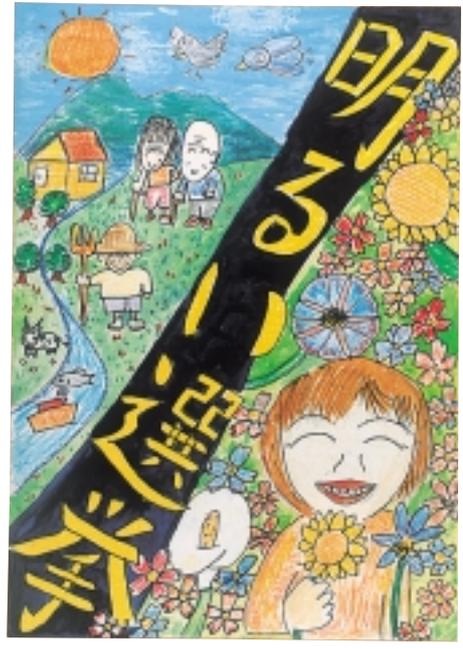
火災予防の一環として島原地域広域市町村圏組合が行う消防スケッチ大会で、松永海里さん(国見町多比良小学校4年)が、最高の賞である管理者賞に選ばれました。この大会には、組合管内の園児・小学生から977点の出品があり、その中での最高賞受賞です。また、市内からは17人が入選しました。入賞・特選者は次のとおりです。

- 【消防長賞】
松永ことみさん(国見町、多比良小)
森瀬 蓮さん(国見町、土黒小)
【特選】
森 海崎さん(国見町、多比良小)

管理者賞を受賞した松永さんの絵。防火・防災を願う気持ちがいっぱいに表現されています



優秀賞を受賞した柴崎さんの絵。明るい未来が人々の笑顔と花いっぱいの絵に表現されています



長崎県選挙管理委員会
明るい選挙ポスター
コンクール
●
優秀賞に
柴崎 由貴さん

明るい選挙啓発の一環として長崎県選挙管理委員会が行う平成17年度明るい選挙ポスターコンクールで、柴崎由貴さん(国見町、土黒小学校5年)が小学生の部で優秀賞に選ばれました。このコンクール(小学生の部)には、県内の小学生から344点の応募があり、その中での受賞です。作品は、長崎県を代表して全国審査へ出展されます。

吹原繁男さん・ちあきさん



島原雲仙農協特選菊生産組合



瑞穂町酪農組合



長崎県農業賞
●
長崎県知事賞に
3部門1人2団体

地域の特性を生かした魅力ある経営活動などに取り組む農業者や団体を表彰する平成17年度長崎県農業賞に、〔経営体部門〕吹原繁男・ちあきさん夫妻(吾妻町)、〔組織活動部門〕島原雲仙農協特選菊生産組合(吾妻町)、〔地域活性化部門〕瑞穂町酪農組合(瑞穂町)が選ばれ、最高賞である県知事賞を受賞しました。11月2日に島原復興アリーナで開かれた授賞式で表彰されました。

MY まちの わだい TOWN TOPICS

「魚が気持ちよく住めるきれいな川に」願いを込めて葦を植えました



末 浜の田川改修セレモニー 永く愛される川に

県モデル事業の一環として7月から行われていた浜の田川（国見町土黒川下流）の水辺の整備工事が終わり、10月30日、改修セレモニーが行われました。セレモニーには「浜の田川をきれいにする会」（林田益太郎会

長）や県の関係者、地元の小学生など約100人が参加。朝早くから川の掃除をした後、水質浄化に役立つ葦を河川敷に植え付けました。子どもたちは、自分たちの手でさらに美しくなった川を満足そうに眺めていました。

初 神奈川県の高校生が雲仙市へ研修旅行 初めての体験!雲仙を堪能

神奈川県湘南学園高校の2年生40人が、10月26日、研修旅行で吾妻町と千々石町を訪れました。吾妻町では、吾妻農産加工組合の指導で柏餅づくりを体験。「柏餅を作るのは初めて!」と、とてもドキドキした様子でした。できあがると、口いっぱいほおばり、手作りのおいしい味に大満足。千々石町ではそば打ちを体験し、「雲仙市ではとても楽しくて貴重な体験ができました。夜は温泉が楽しみ。」とみんなうれしそうに話していました。



仲間との楽しく、おいしいひとときでした



さらに美しくなった川には、きれいな青空が映りました

愛野小合唱クラブのハーモニーが会場に響き渡りました



見て、聞いて、触れあって

愛のまち文化フェスティバルが、11月5日と6日、愛野町公民館と農業者トレーニングセンターで開かれました。初日は、園児や小学生の踊りなどの野外イベントに始まり、ビーズ教室や“歩く”をテーマにした文化講演会などが行われました。また、トレーニングセンターには絵画や書道など多くの作品が展示され、たくさんの人たちを魅了。2日目は太鼓や舞踊などの芸能発表会があり、参加した人も観客も心に残るすてきな発表会になりました。

第16回南串山文化祭 まちに文化の花開く

南串山町文化協会主催による第16回文化祭が、11月3日から5日までの3日間、ハマユリックスホールを主会場に開かれました。3日には、芸能発表会が開かれ、日本舞踊や合唱など、日ごろの活動の成果を各サークルが発表しました。息のあった歌声や優美な踊りがステージで繰り広げられるたびに、観客席からは大きな拍手が送られていました。また、3日間を通し、絵画や書の展覧会、菊花展なども開かれ、訪れた人たちの目を楽しませていました。



色とりどりの美しい菊の花が来場者を魅了していました

約3時間で頂上に到着。雲仙のやわらかな風と美しい緑の匂いを心にやきつけました



色づくもみじの中、一步一步声をかけながら登りました

澄んだ心に映る 雲仙の絶景

ふれあいステーション 雲仙普賢岳登山
視覚障害者学習塾ふれあいステーション主催の雲仙普賢岳登山が、11月3日に行われ、約20人が参加しました。「右足の30cm前に石段です。はい、ゆっくり」介助する登山グループの指示に合わせて、みんなで協力しながら山頂を目指しました。小雨の中、仁田峠をスタートしましたが、山頂に着くころには雲の切れ間から青空が。参加者は「視力は失ったけど、ほほにあたるさわやかな風は格別。参加して良かった」とすがすがしい笑顔で話っていました。

ふれあいステーションでは、一緒に活動する視覚障害者のみなさんやボランティアを募集します。興味のある方は、☎0957 73 2672(代表、高橋さん)までご連絡ください。

ま
ち
の MY TOWN TOPICS
わ
だ
い

建物柱の跡がずらりと並んでいます



まちのわだい MY TOWN TOPICS

奈良時代の役所跡発見

11月6日、教育委員会が国見町にある金山遺跡の調査成果の説明会を行いました。遺跡からは奈良時代（8世紀ごろ）の建物跡が多数発見され、建物の大きさや柱の太さなどから、一般的な集落の建物ではなく、「郡衙」であることが判明しました。「郡衙」とは、役所のことで、「肥前国高来郡」の中心地と考えられます。「郡衙」と考えられる建物は県内では発見例がなく、貴重な文化遺産です。説明会の当日は、あいにくの大雨にもかかわらず、県内各地から60人以上が集まり、熱心に説明を受けました。

雲仙市には多くの遺跡があります。教育委員会では、今後も発掘調査を実施し、今回のような説明会を開催していきたいと考えています。

試合が始まると、会場の温度がどんどん上がっていききました



キラキラ輝く みんなの笑顔

吾妻町駅前商店会主催のきらきらフェスタが10月29日に吾妻中央公園で開催されました。町内の園児が遊技や楽器演奏などでオープニングを飾ると、訪れた多くの観客から拍手や歓声が沸き起こりました。そのほか、温泉旅行やプロレスのチケットが当たるお楽しみ抽選会やビンゴゲームなどがあり、多くの子どもたちや家族連れでにぎわいました。また、吾妻体育館では、きらきらプロレス～あづまに舞うプロレス団～が開催され、KAIENTAI-DOJOのプロレスで熱くヒートアップしました。



園児のかわいらしい踊りに、みんなが笑顔になりました



集まった人たちは熱心に遺跡を見学しました

100 市内2人に100歳のお祝い 100回目のハッピーバースデー

10月16日に100歳を迎えられた宇山スミさん（瑞穂町）と27日に迎えられた松永壽太郎さん（吾妻町）に、10月17日と28日、松浦雲仙市長職務執行代理者が市からのお祝いを手渡しました。一世紀もの時の流れを肌で感じてこられたお二人は、とてもお元気で、「おめでとう」と書かれた看板の前でお祝いを手渡されると少し照れくさそうに微笑まれました。これからも健康で、もっと長生きしてください。



16日に100歳を迎えられた宇山さん



27日に100歳を迎えられた松永さん

献血車には、愛が溢れる多くの方が献血に訪れました



愛 10月 愛の献血 の献血に115人

愛の献血車が、10月18日に吾妻町へ、20日に南串山町にやってきました。献血に訪れた人たちは、「また来ましたー」と笑顔で献血車に乗り込む常連さんばかり。愛あふれる献血は、200ml 献血と400ml 献血合わせて115人で、献血された血液は合計42.8リットルでした。みなさんの真心がたくさん命を救います。献血してくださったみなさん、ご協力ありがとうございました。今後ともご協力をお願いします。

がまだすネット秋の島原半島まるごと体感ツアー おいしいみかん まるごと体感

瑞穂町認定農業者連絡協議会とNPO法人がまだすネット主催のみかん収穫体験が、11月13日、瑞穂町の小田清吾さんのみかん園で行われました。農業体験と観光を一体化して行われているこのイベントは、農家と消費者の人たちと交流を深めるとともに、農業と地元農産物の魅力を伝える“おいしい”イベント。当日は、熊本県や県内から53人が参加し、みかんの甘酸っぱいにおいが立ちこめる園で、おいしいみかんを丸ごと体感しました。

秋は行楽シーズン。多くの家族連れが参加しました



情報ステーション



お問い合わせはこちら

雲仙市役所	☎0957 38 3111
国見総合支所	☎0957 78 2111
瑞穂総合支所	☎0957 77 2111
愛野総合支所	☎0957 36 2111
千々石総合支所	☎0957 37 2001
小浜総合支所	☎0957 74 2111
南串山総合支所	☎0957 88 3111
雲仙出張所	☎0957 73 3445
雲仙市教育委員会	☎0957 37 3113
国見分室	☎0957 78 1100
瑞穂分室	☎0957 77 2125
吾妻分室	☎0957 38 3108
愛野分室	☎0957 36 0616
小浜分室	☎0957 74 2111
南串山分室	☎0957 88 3114

福祉事務所 ☎0957 36 2500

選挙管理委員会 ☎0957 38 3111

監査事務局 ☎0957 38 3111

農業委員会 ☎0957 38 3111

	人のうごき
人口	51,606人
男	24,526人
女	27,080人
世帯数	16,315世帯

10月末現在

募集



特定非営利活動(NPO)法人がまだすネット会員募集

がまだすネットでは、島原半島の交流人口拡大と地場産業の活性化を目指し、スローフードやグリーンツーリズム、地産地消などに取り組んでいます。趣旨に賛同していただける方は、ぜひご入会ください。

事業内容

- ・体験プログラムの開発およびコーディネート
- ・体験指導者やガイドなどの人材育成
- ・体験プログラム情報の発信
- ・体験を中心とした観光商品の企画や運営
- ・グリーンツーリズムに関する情報提供や県内外の普及・啓発

- ・地産地消や食育、スローフードに関する情報提供や県内外の普及・啓発
- ・島原半島地域のホスピタリティ啓発活動
- ・地域の特産品の発掘や開発、販売システムの開発

年会費 個人2000円 法人・団体10000円 旅館・ホテル(30室以上)20000円 旅館・ホテル(30室未満)10000円

問い合わせ

NPO法人がまだすネット
☎0957(75)0666

余熱利用施設の愛称募集

県央島南広域環境組合では、余熱利用施設(温水プール、浴室)を諫早市福田町に建設中で、来年4月にオープンを予定しています。親しみやすい施設のイメージにマッチした愛称を募集します。

応募・問い合わせ

県央島南広域環境組合 施設課
☎0957(35)8200

自衛官募集

出願資格 平成元年4月2日から平成3年4月1日までの間に生まれた男子で、中学校卒業または中等教育学校の前期課程を修了した人

受付期限 18年1月10日(火) ただし、18年3月中学校卒業予定者または中等教育学校の前期課程修了予定者の受付については、文部科学・厚生労働両省から示された期日以降に実施します。

採用予定数

・陸上自衛隊 約250人

海上自衛隊 約60人
航空自衛隊 約50人

第一次試験日 18年1月14日

試験会場 島原市森岳公民館

問い合わせ

島原募集事務所
☎0957(62)3759
市役所 総務課
(内線2517)

高齢者の事故が多発しています!
夜の外出には反射材をつけましょう

小浜警察署・国見警察署



今月の税

- 国見町.....固定資産税3期・国民健康保険税6期(26日)
- 瑞穂町.....固定資産税4期(26日)
- 吾妻町.....固定資産税3期・国民健康保険税6期(26日)
- 愛野町.....固定資産税3期・国民健康保険税6期(26日)
- 千々石町.....住民税4期・国民健康保険税6期(26日)
- 小浜町.....固定資産税3期・国民健康保険税6期(26日)
- 南串山町.....住民税4期・固定資産税4期(26日)

V(ヴィ)・ファーレン長崎後援会会員募集

サッカーJリーグ参入を目指す本県のクラブチーム「V・ファーレン長崎」が一年目にもかかわらず、九州リーグを3位で今シーズンを終えました。来年のJFLの昇格を果たすには、これまでも増して県民や県内企業の支援が必要になります。

V・ファーレン長崎後援会では、チーム強化のため財政的な支援をする会員を募集しています。

個人会員

年会費一口 5000円

法人会員

年会費一口 30000円

問い合わせ

V・ファーレン長崎後援会事務局

☎0957(78)3567

☎095(824)1111

放送大学 第1期学生募集

放送大学の特徴

- 働きながら自宅で学習ができる
- 大学卒業の資格が取得できる
- 学びたい科目を1科目から

- 学習できる
- 入学試験はありません
- 募集学生
- ・教養学部(全科履修生、選科履修生)
- ・大学院(修士選科生、修士科目生)

願書受付 12月15日～18年2月28日

入学日 18年4月1日(土)

問い合わせ

放送大学長崎学習センター
☎095(813)1317

いさはやコンピュータ・カレッジ学生募集

願書受付

・第3期 18年1月16日～31日

- ・第4期 18年2月13日～3月1日
- ・第5期 18年3月6日～27日

出願書類

①入学願書

②調査書または卒業証明書

③選考票返送用封筒

選考料 10000円

試験日時

・第3期 18年2月6日(月)

・第4期 18年3月6日(月)

・第5期 18年3月30日(木)

試験会場 いさはやコンピュータ・カレッジ校舎

問い合わせ

いさはやコンピュータ・カレッジ
☎0957(25)2131

農産物PR看板を設置

雲仙市吾妻町の特産品を広く宣伝しようと、吾妻町認定農業者協議会(会長柿田克樹)が「湯田川陸橋」の橋脚に、特産物を描いた看板を取り付けました。この陸橋は、農産物を運搬する際の危険回避と輸送ルート改善のため同町阿母名に建設され、9月22日に開通しました。この看板の設置は、同協議会が発案し、吾妻町(現雲仙市)とJA島原雲仙が費用の半額を助成し実現しました。設置された看板は3枚組で、吾妻牧野からの風景やブロッコリー、玉ネギなどの特産物のイラストが描かれています。



12月4日～10日は人権週間です
みんなが持つ「あたり前の権利」を尊重しましょう

法務省



〔長崎〕095(826)5511 長崎県保険医協会

月	大人の立ちくらみ
火	脚(下腿)の傷が治りにくい
水	おしゃぶりのよいところ、悪いところ
木	白内障の手術時期について
金	嫉妬妄想
土・日	増えている性感染症
年未年始(28日~1月4日)	おならが多い

午前9時~翌朝9時までの24時間、同じ内容のテープが流れます。

今日から始めよう! 家でできる冬の省エネ

寒い冬。快適さを求めるあまりエネルギーをむだ使いしていませんか? 省エネは、電気代の節約だけでなく、地球温暖化の防止もつながります。



省エネのポイント

- ・暖房温度は20℃に
- ・人のいない部屋は消灯
- ・テレビをつけっぱなしにしない
- ・使わない電気製品はコンセントを抜く
- ・無用なアイドリングはストップ

みなさんのご協力をお願いします。

対象者 ホームヘルパー1級課程研修の修了者または履修中の人および介護福祉士で、原則として難病患者等ホームヘルプサービス事業に従事することを希望する人、従事が確定している人、すでに従事している人(原則として、県南保健所管内の人)

日時 12月22日(木) 午前9時30分~午後5時(受付 午前)

場所 9時~ 長崎県南保健所
内容 難病の基礎知識や難病患者の心理学的援助方法など
費用 受講料は無料。テキスト代金1785円(税込み)

申し込み・問い合わせ
長崎県南保健所 地域保健課
☎0957(62)3287

おしらせ 難病患者等ホームヘルパー養成研修「基礎課程Ⅱ」



県民手帳 2006 好評発売中



1冊 500円

一般的な手帳の内容に加えて、県内の祭事日程や県産品の紹介、地理的なデータが掲載されています。さらに資料編として、九州や県内の主要官公庁所在地や暮らしに役立つデータを集めた付録付きです。

販売は1月末まで行う予定です。

販売・問い合わせ

市役所 企画課 広報統計班
各総合支所 管理課 総務税務班

平成新山がんばランド 小中学生交通費助成

雲仙・普賢岳噴火災害を知らない県内の若い世代に災害の脅威と教訓を伝えていくことを目的に、雲仙岳災害記念館に入館する県内の小中学生の交通費を助成します。

対象 県内の小中学生(学校が授業や行事として行う場合および小中学生を10人以上含む団体・個人のグループ)

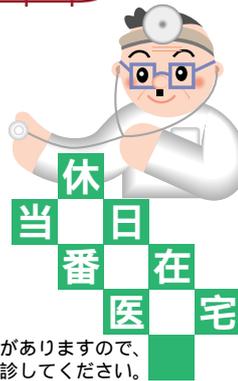
助成の条件 確認印押印の入館証明書の交付を受けること
入館の際には、名札や生徒手帳など学校名の分かるものを持参ください

助成額 6万円を上限に、貸切バス・レンタカーの場合は実費の半額、それ以外は学校所在地に応じた相当額

12月は地球温暖化防止月間です エネルギーのむだ使いをなくしましょう

環境省

申請・問い合わせ
雲仙岳災害記念財団事務局
(島原振興局地域振興課内)
☎0957(62)2539



変更される場合がありますので、電話連絡後、受診してください。

日	医療機関	電話番号	地区
4日	中村眼科医院 副島内科クリニック	0957 36 11060 0957 74 3700	雲仙市愛野 雲仙市小浜
11日	愛野診療所 ひらゆ医院	0957 36 0009 0957 74 5833	雲仙市愛野 雲仙市小浜
18日	有明共立診療所 くさの循環器内科	0957 68 0269 0957 37 6050	有明町 雲仙市千々石
23日	貴田神経内科・呼吸器科・内科病院 松島外科	0957 68 0040 0957 74 4388	有明町 雲仙市小浜
25日	くすのきクリニック 城代医院	0957 68 5500 0957 37 2032	有明町 雲仙市千々石

巡回労働相談

長崎労働相談情報センターでは、労働条件や労使関係など各種労働問題について、労働者・経営者の双方からご相談をお受けします。

賃金や労働時間、解雇などの労働問題でお困りの方は、お気軽にご相談ください。相談は無料です。

日時 12月11日(日) 午前11時～午後4時

場所 小浜老人福祉センター
(雲仙市小浜総合支所前)

問い合わせ

長崎労働相談情報センター
☎095(821)1457

相談専用フリーダイヤル
☎0120(783)258

口加高校ウィンターフェスティバル

日時 18年1月15日(日) 午前10時～午後4時30分

内容

・文化部による展示発表、イベント、ステージ発表
・家政科によるファッションショー、バザー
・フリーマーケット
場所 口之津町中央公民館

問い合わせ

長崎県立口加高等学校 生徒会指導部

☎0957(86)2180

急ぐほど 正しく はっきり110番

1月10日は、110番の「日」です。110番の正しい利用について、ご協力をお願いします。

110番は緊急の事件・事故を受ける電話です。免許証の更新や相談など緊急でない用件は、9110または各警察署にお問い合わせください。

110番するときは、市外局番なしの「110」をダイヤルしてください。
110番は地元の警察署で

12日～31日

年末の交通安全県民運動

12月12日～31日までの20日間、年末の交通安全県民運動が行われます。

たった1つしかない命。被害者にも加害者にもならないために、一人ひとりが交通ルールを守りましょう。

スローガン

暗闇の命が光る 反射材

重点

高齢者の交通事故防止

飲酒運転の根絶

二輪車の交通事故防止



おわびと訂正

広報うんぜん創刊号で誤りがありました。次のように訂正し、深くお詫び申し上げます。

〔P11 吾妻町閉町記念式典の写真説明〕
誤 浦川町長・伴助役による町旗降納

正 浦川町長・東原議会議長による町旗降納

問い合わせ

・小浜警察署 ☎0957(75)0110
・国見警察署 ☎0957(78)0110

はなく、長崎県警察本部通信指令室で受理します。通報したら次の①から⑤を係員に伝えてください。
①「事件」か「事故」か
②発生場所(市名・町名・目印となる目標物)
③犯人の格好や逃げた方向、手段(車で?走って?)など
④けがや被害の有無
⑤あなたの氏名、電話番号など



雲仙市と同じ10月11日に誕生した太田悠月くん(国見町)
「友達がいっぱいできますように」と、父、勝也さん
「元気にのびのび育ちますように」と、母、留美さん
お母さんとお父さんの優しいまなざしが向けられていました。

よく「子は親を選べない」と言うけど
きっとお母さんのおなかの中に入る前に
「このパパとママなら」と選んでくるんだよね
元気に産まれた瞬間に すぐ忘れちゃうんだけど

真っ白でピュアな心を
家族からの大きな愛情でふくらませながら
ちっちゃな手のひらに
幸福な未来への切符を ぎゅっと握りしめて

虹のあとさき
編集後記

「最後に登ったのが、20代前半だったから、もう10数年ぶりになるのかあ」という懐かしい気持ちをしと、「あのころよりは確実に10数kg太っている身体で登れるのだろうか」との大きな不安を抱きながら、視覚障害者の皆さんの雲仙登山取材してきました。小雨の中のスタートに、私の不安はどんどん増していきましたが、参加者の皆さんがお互いに協力しながら頂上を目指す姿を撮影するうちに、そんな不安はどこへやら。力を合わせながら登る姿に、忘れかけていた勇気と元気をもらったような気がしました。頂上に着くころには雨もすっかり上がり、きれいな秋の青空と真っ赤な紅葉のパノラマが目前に広がって…気分は最高！体重も少しだけ落ちていて、うれしい取材となりました。

「ゼッツタイ記念になりますから」と強引に押し切り、お休みの日に奥様の実家まで赤ちゃんの写真を撮りに行ってしまいました！太田悠月くん。雲仙市と同じ日に生まれたかわいいい男の子です。「いや、子どもだけでいいですよ」と言われた両親の勝也さんと留美さんを、これまた押し切り、撮っちゃいました家族の写真を…(上) 温かいお母さんの腕に抱かれ、優しいお父さんのまなざしを受けた赤ちゃんは、心地よくて今にも眠りそうでした。「いや、恥ずかしい」と何度も言う勝也さんに「大丈夫ですよ！」なんて言いながら、なぜか私が照れ笑い。

ご協力ありがとうございました。

